

甲状腺機能低下症とは

甲状腺から分泌されるホルモンが低下する疾患です。甲状腺はヒトと同じように頸部にふたつ存在しています。甲状腺ホルモンは全身の代謝に関係しているため、症状は全身の至る所に表れます。中高齢のわんちゃんに多い疾患です。

《診断》

血液検査で甲状腺ホルモン(T4)や甲状腺刺激ホルモン(TSH)の測定を行います。T4が低値、TSHが高値を示すと「甲状腺を刺激しようとしているが甲状腺自体の反応が悪い」＝「甲状腺の機能が低下している」と診断されます。様々な疾患や一般状態の悪化でもT4は低値を示しますので、症状も含め、総合的な判断が必要です。

《症状》

- 不活発、元気が無い、疲れやすい
- あまり食べていなくても太る
- 被毛の質の低下(被毛がゴワゴワする、毛並みが悪い)
- 脱毛
- 皮膚の質の低下(フケっぼい、黒ずむ、乾性脂漏など)
- 角膜炎、ブドウ膜炎など目の障害
- 徐脈(心拍数がゆっくり)や不整脈などの心筋障害
- 足を引きずる、筋肉量の低下などの運動障害
- 悲しげな表情(眼瞼や唇の下垂やむくみによるものです)
- 体の痛み
- 月経異常
- 消化器症状(下痢、便秘)



症状が多様で、ハッキリしないためただの老化と捉えられてしまう場合もあります。また、すべての症状が現れるわけではないため、発見が難しい疾患でもあります。

《治療》

甲状腺の機能を取り戻すことは出来ませんが、飲み薬でホルモンを補充することで症状を和らげることができます。

ホルモン剤と言うとご不安があるかもしれませんが安全性が高く、これと言って副作用もありません。十分に補充できているか、また過剰になっていないか確認のため定期的に血液検査を行い、お薬の量を調節する必要があります。